

議会だより



撮影者：フォト集団オリーブ 村田 健二

そよ風に泳ぐ

- 審議議案 3月定例会・臨時会について… 2～ 6
- 一般質問 7人の議員が質問 …… 6～11
- 小学生議会 …… 12・13
- 議会日誌 …… 14

100億3800万円 可決

「人が集い、元気なまち」を目指して ～町の将来を見据えた持続可能な行政運営～

3月定例会を2月24日から3月15日まで15日間開催しました。

今定例会では、当初予算案件7件をはじめ、補正予算案件6件、条例案件8件、人事案件15件、その他案件2件が提案されたほか、請願1件と発議1件が審議されました。当初予算案件7件、新規条例1件と請願1件は各常任委員会に付託し、慎重に審議した結果、請願は継続審査とし、他の議案は原案通り可決しました。

なお、歳入歳出予算の内訳、町長施政方針で表明された令和4年度の主な事業については次の通りです。

歳入歳出予算の内訳

(単位は百万円、構成比は%、百万円未満は四捨五入)

※端数処理の関係上、数値が合わない場合があります。

町で確保できる自主財源は3割程度で、残りの7割は、地方交付税、国・県補助金、町債（借入金）に頼るなど、依然として3割自治が続いています。

様々な行政サービスや公共事業を行うために借り入れるお金です。

自治体の税収の格差を減らすために国から交付されるお金です。

予防接種、検診、ごみ処理などにかかる費用です。

借入金の返済にかかる費用です。

地方消費税
地方譲与税など

451

県支出金 4%

608 6%

国庫支出金 9%

916 9%

町債 8%

819 8%

依存財源 65%

6,724 65%

地方交付税 38%

3,930 38%

町税 14%

1,440 14%

繰入金 3%

299 3%

使用料 18%

寄付金など 1,873 18%

自主財源 35%

3,612 35%

歳入

歳出

総務費 21%

2,059 21%

民生費 18%

1,823 18%

教育費 18%

1,777 18%

公債費 13%

1,318 13%

衛生費 10%

1,050 10%

土木費 7%

720 7%

消防費・農林水産費等 13%

1,291 13%

庁舎管理、防災、交通安全などにかかる費用です。

高齢者・障害者福祉や児童手当などにかかる費用です。

小・中学校、公民館や体育施設の維持管理、給食などにかかる費用です。

※骨格予算とは…新年度早々に首長・議員選挙を実施する場合、政策的な経費を極力抑え、義務的な経費や継続的な事業費を中心に編成された予算のことです。
政策的な事業については、次回定例会において補正を行います。

令和4年度 一般会計当初予算(骨格) ※

健康・福祉のまち

新型コロナワクチン接種	4,590万円
小豆島中央病院医療機器整備負担	4,138万円
医療従事者の確保	4,651万円
公共施設へ車いすの設置	136万円
こまめ事業・見守りサービス	33万円



小豆島中央病院の運営強化

定住・交流のまち

資源ごみ収集の拡充	8,853万円
地域おこし協力隊の推進	6,348万円
消防団員の処遇等改善	2,512万円
災害時用給水タンクの購入	726万円
ドライブレコーダー設置の支援	250万円



資源ごみ収集

産業のまち

漁業インフラの整備	9,350万円
瀬戸内国際芸術祭2022の開催	5,394万円
新規就農者育成対策・経営発展の支援	2,475万円
森林防害虫対策（ナラ枯れ防除）	1,832万円
オリーブの栽培・生産拡大	836万円
小豆島若手人材育成塾の展開	525万円



瀬戸内国際芸術祭作品（神浦）

教育・文化のまち

池田小学校長寿命化改修工事	5億4,241万円
中山の舞台大規模改修補助	1,249万円
妊婦応援・子育て応援給付金	1,040万円
ICT教育支援	600万円
こどもの夢応援プロジェクト	210万円



長寿命化改修工事へ（池田小学校）

行財政改革の推進

ふるさと納税の推進（目標額）	9億円
人材育成の強化	110万円
防災・危機管理体制の強化	68万円
人事評価運用支援	79万円
行政のデジタル化への取り組み	



危機管理研修の様子

令和4年度 当初予算審査

本会議に提出された令和4年度当初予算案は、詳細な審査を行うため、一般会計予算を総務建設常任委員会へ、各特別会計予算を教育民生常任委員会へ付託しました。

また、一般会計予算については、教育民生常任委員会の所管にも関連があるため、両委員会合同で連合審査会を開催し、町に対して質疑等を行いました。

総務建設・教育民生連合審査会

(2月28日、3月2日～3日)

審査内容

●一般会計予算

●次の意見を付して、原案通り可決しました。
防犯灯設置補助金については、住民が広く利用しやすい補助制度として再検討されたい。

【総務課】

教育民生常任委員会 (3月4日)

審査内容

- 国民健康保険事業特別会計予算
- 後期高齢者医療事業特別会計予算
- 介護保険事業特別会計予算
- 介護予防支援事業特別会計予算
- 介護サービス事業特別会計予算
- 介護保険施設事業会計予算
- 全て原案通り可決しました。

本会議で審議した

主な議案

補正予算

(一般会計第9号・第10号)

追加補正予算額

2億8597万円

主な補正予算の内容

電算システム改修委託料

1242万円

マイナンバーカード所有者が転出届の提出、転入時の予約などの手続きをオンライン上で行えるよう、システム改修を行うものです。

庁舎光熱水費

310万円

燃料調整費の変動や燃料代の価格高騰により光熱水費が不足したため、増額するものです。

庁舎設備修繕料

668万円

内海病院開設時から使用している庁舎の浄化槽や、池田保健センターの自動ドアが老朽化していることから修繕を行うものです。



内海斎苑エアコン修繕料

128万円

エントランスホールのエアコンの修繕を行うものです。

道路橋梁等長寿命化事業委託料

430万円

旧片城橋の改修に向けて、実施設計を委託するものです。

■各教育施設の修繕

経年劣化等による修繕を行うものです。

教員住宅修繕料

92万円

西村教員住宅14室の浴室換気扇および台所設備の交換等を行います。

小学校設備修繕料

78万円

- 池田小学校 トイレの漏水
- 星城小学校 体育館屋上の漏水
- 安田小学校 浄化槽放流ポンプなど

幼稚園・こどもセンター設備修繕料

101万円

- 星城幼稚園 通路
- 安田幼稚園 玄関扉
- 苗羽幼稚園 テラス天井
- 小豆島こどもセンター 消火水槽など

給食センター設備修繕料

346万円

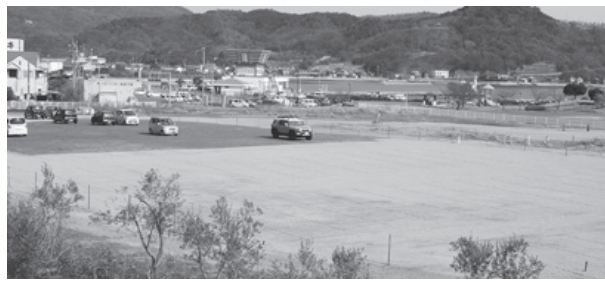
炊飯釜等の調理器具、エアコン、食器洗浄機など



改修予定の旧片城橋

池田港臨時駐車場整備費
420万円

池田港の利用環境を充実させるため、照明設備5基と臨時駐車場99台分を新たに整備するものです。



池田港臨時駐車場

電算システム改修委託料
327万円

マイナンバーカードを活用し、各種がん検診の結果をパソコンやスマートフォンで確認できるように、システム改修を行うものです。

ふるさと納税推進事業費
2億1250万円

堅調なふるさと納税の増額に伴い、返礼品の地場産品等調達費や、ポータルサイトの利用にかかる手数料を増額するものです。



基金積立金
1億4574万円

地方交付税の再算定により、増額した普通交付税を臨時財政対策債の償還財源等に活用するため、基金に積み立てるものです。

予算の減額
▲3億1855万円

コロナ禍により中止となった事業などの予算を精査し、減額したものです。

条例の一部改正・新規制定

・小豆島町介護サービス事業財政調整基金条例

・小豆島町介護保険給付費準備基金条例

●新小豆島町介護予防支援事業財政調整基金条例

各特別会計における決算剰余金の処分を適切に行うため、条例を整備するものです。

小豆島町体育施設条例

福田町民プールの廃止に伴うものです。

小豆島町国民健康保険条例

地方税法等の改正により、令和4年度から未就学児にかかる均等割を5割減額するものです。

小豆島町後期高齢者医療に関する条例

香川県後期高齢者医療広域連合の条例改正に伴うものです。

小豆島町職員の育児休業等に関する条例

非常勤職員の育児休業取得要件を緩和するなど、育児と仕事の両立を支援するため、条例の整備を行うものです。



小豆島町職員の特殊勤務手当に関する条例

医療・福祉人材の育成・確保を支援するため、手当を拡充するなど、介護職員等の処遇改善を図るものです。

議員 発議

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議

ウクライナに対する軍事侵攻や主権侵害に對して、抗議の意を表明するため、駐日ロシア連邦特命全權大使へ決議文を送付しました。

●決議全文

去る2月24日、ロシアは国際社会の度重なる警告を無視して、ウクライナへの侵攻を開始し、その後、首都キーウへの攻撃などウクライナ全土への軍事攻撃を行った。

この行動は、独立国の主権と一体性を侵害し、武力を行使すること

を禁じた国際法と国連憲章に違反していることは明白であり、断じて容認することはできない。この事態は、欧州にとどまらず、我

が国が位置する東アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態である。

さらに、プーチン大統領が「核兵器の使用」を公言し、核兵器の使用を示唆した一連の行為は、決して容認できないものではない。

小豆島町議会は、「平和の町 小豆島町宣言」に基づき、ロシアによる一連のウクライナへの軍事侵攻や主権侵害に對して、抗議の意を強く表明するとともに、即時無条件での攻撃停止と完全撤退を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月10日
小豆島町議会議長
谷 康 男

人事案件

小豆島町農業委員

任期満了に伴い、14人の農業委員の任命について同意しました。任期は令和4年4月1日から3年間です。

●任命要件の緩和

委員の過半数を占める必要がある認定農業者等が少なくため、認定農業者に準じる者を含めて過半数とすることにしました。

再任

- ・九野 賢輔氏(中山)
- ・向井 亮二氏(蒲野)
- ・八木 宏和氏(西村)
- ・今城 実氏(神懸)
- ・秋長 正幸氏(馬木)
- ・三宅 徳昌氏(福田)
- 新任
- ・中澤 一博氏(池田)
- ・藤本 一弥氏(池田)
- ・綿谷 義範氏(蒲生)
- ・白木 正美氏(室生)
- ・市坂 勉氏(片城)
- ・空澤 英雪氏(安田)
- ・川崎 健司氏(安田)
- ・久留島 賢一氏(坂手)

人権擁護委員

現在の委員である山口眞理子氏を「引き続き委員として推薦することに適任」との答申を行いました。任期は3年間です。



山口 眞理子 氏
(西村)

請願

香川県に「主要農作物種子条例制定を求める意見書」の提出を求める請願

●提出者

「種子を守る会 香川」

●紹介議員

鍋谷 真由美 議員
総務建設常任委員会
へ付託して審議した結果、継続審査となりました。

臨時会

第1回臨時会を1月17日に開催しました。報告1件、補正予算案件1件が提案され、原案通り可決しました。

補正予算

(一般会計第8号)
追加補正予算額
2億7723万円

主な補正予算の内容

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金
2億4380万円

住民税非課税世帯と、コロナ禍により家計が急変した世帯に対して10万円を給付するものです。

芸術作品制作費負担金

1500万円

寒霞溪(鷹取展望台付近)に、新たに設置する芸術作品の制作にかかる費用です。

3月定例会 一般質問

今定例会の一般質問を3月9日に行い、7人が登壇しました。一般質問とは、議員が町民の代表として町政全般にわたって、事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明や報告を求めるものです。

はま ぐち いさむ 浜口 勇 (7 P)

- ・出初式は中学校体育館で開催を

おお した あつし 大下 淳 (7 P)

- ・合併処理浄化槽法定検査の疑義解消を
- ・野焼き問題 何が適切か

なかまつ かずひこ 中松 和彦 (8 P)

- ・主要産業に対する支援の充実・拡大を
- ・島はひとつ、土庄町との連携を

もりぐち ひさお 森口 久士 (8 P)

- ・4年間の総括は
- ・草壁航路の具体的な政策は

もり たかし 森 崇 (9 P)

- ・道路の安全対策は
- ・草壁航路・再就航の願いが強い！町長の決意は
- ・高潮対策と津波対策は

やす い のぶゆき 安井 信之 (10 P)

- ・医療費無料助成対象拡大の考えは
- ・障害者福祉の状況は
- ・旧高橋旅館の対応は

なべたに まゆみ 鍋谷 真由美 (11 P)

- ・コロナ対策の拡充を
- ・ファミリーサポートセンター事業の実施を
- ・憲法9条改憲に反対を

■今定例会から、一般質問の様子を録画配信します。右のQRコードを読み取ると、小豆島町ホームページ内のURLから視聴できます。(YouTubeにリンクします。)





はまぐち いさむ 議員

出初式は

中学校体育館で開催を

町「原則、屋外で実施すべき」

質問 例年、消防出初式は寒風の中での開催が多く、来賓で出席し観覧するも寒くて苦行のごときである。

寒風吹きすさぶ中、団員はグラウンド上で1時間半という長時間起立したままで、非常にいたわしい。

県内の町では土庄町はフレトピアホールで行い、団員は着座である。琴平町・まんのう町では、表彰や来賓挨拶は屋内で行い、団員は着座とのこと。若者団員確保の一助にもなると思うので中学校体育館で開催できないか。

答弁 恒例の出初式は、三が日を除く1月最初の日曜日に行っている。目的は団員の士気を高め、消防活動の安全を祈願し、町民の防災意識の普及啓発である。

厳しい寒さの中での観覧は大変過酷であるが、消防団本部に開催方法について確認したところ、原則、屋外で実施すべきであるとの意見であった。

日頃からの訓練を通じて規律ある行動や車両・資機材の点検などが、団員の自覚の醸成、技術の向上や地域防災力の強化に寄与している。原則、屋外での開催としたいが、式典時間などできる限り短縮するなどの対応を検討していく。また、消防団員の確保は全国的な問



小豆島町 消防出初式

題となっており、団員の処遇改善等を図り、団員確保に向けて取り組んでいく。



おした あつし 議員

合併処理浄化槽法定検査の

疑義解消を

町「機会を捉えて 県に伝えていきたい」

質問 合併処理浄化槽の設置者は、保守点検や清掃業務を委託し適正管理に努めている。しかし、法定検査と称して年に一度の検査を強要され、さらなる費用を負担させられている。県知事の権限である

答弁 浄化槽の監督・指導の権限は都道府県知事が有している。機会をとらえて県担当部に意見を伝えていきたい。



野焼き問題

何が適切か

町「地域でルールづくりを」

質問 野焼きには、例外として慣習や農林水産業でやむを得ないものは認められているが、苦情が出れば燃やせなくなる。

判断基準があいまいで多くの人が処理に困っている。救済策はあるか。



野 焼 き

答弁 この問題は屋外焼却を必要とする人と近隣住民の価値観の相違にある。行政区域で一律のガイドラインを設けることは難しく、それぞれの地域で相互理解を深め、ルール作りを進めていただきたい。なお、取り締まりについては例外規定としての認識を警察と調整していきたい。

主要産業に対する支援の充実・拡大を

町「令和4年度の補正予算で対応したい」



なかまつ かずひこ 議員
中松 和彦

質問 町の産業は、一般的に不振にあえいでいる。町の令和4年度当初予算では、産業支援の予算が極めて少なく感じられるが。

答弁 中・長期的に係団体、民間事業者と連携し、ブランド戦略を継続したい。また、新規・拡充事業は4年度の補正予算で対応する。

島はひとつ、土庄町との連携を

町「連携を密にし、多岐にわたり取り組んでいる」

質問 小豆島は土庄町と2町で構成され、共通する深刻な問題を抱えている。両町の連携を緊密にし、信頼関係の醸成が欠かせない。小豆島町は昨年「世界の持続可能な観光地TOP100選」に選ばれた。しかし、同じ島を構成する土庄町は選ばれていない。どのような経緯であったのか。また、岡野土庄町長

答弁 土庄町との連携は、医療・福祉、消防、ゴミ処理、教育等、多岐にわたり連携を密にして取り組んでいる。また、各課で情報共有や意見交換を行っている。

「TOP100選」については、小豆島町



「世界の持続可能な観光地TOP100選」に中四国で唯一選出された

としてのストーリーを提案したということ、土庄町にも情報は届いていたと思う。今後、土庄町と共に地域の大切な宝を守り、次代へと引き継いでいきたい。

4年間の総括は

町「持続的な行政運営が進んだと考えている」



もりぐち ひさお 議員
森口 久士

質問 塩田町政から引き継がれた事業がたくさんあり、際立った成果は見当たらないが。

答弁 国勢調査人口が国の推計を約300人上回った。組織再編に合わせた危機管理室の新設。ごみ収集の全面委託。池田地区改良住宅更新計画。オンライン移住相談とテレワーク拠点施設整備。地域おこし協力隊員10人採用。町営バス三都西線の便数拡充と東線に乗合タクシー導入。全て

草壁航路の具体的な政策は

町「航路の維持、確保に先頭に立って取り組む」

質問 民間団体の先頭に立ち、町民の分裂を招いている。具体策があつて運動を続けるのか。

答弁 町民の分断を招いたとは考えてない。航路の維持、確保は当

再質問 高松港の接岸の問題を四国運輸局へ要望に行くのは不思議に思うが。

再質問 高松港の接岸の問題を四国運輸局へ要望に行くのは不思議に思うが。

の学校の教室にエアコン整備。子育て包括支援センターの設置等に取り組んだ。

再質問 小学校統合問題は。

答弁 残せるものなら残していきたい。

再質問 坂手港の再整備、地区へ出向いて話し合いをしたか。

答弁 行っていないが、十分に意向はくみ上げているつもりである。



活用が期待される草壁港

答弁 接岸問題も含めて、運輸局にお願いしていきたい。

道路の安全対策は

町「国・県の補助金を活用し、対策工事を拡大したい」



もり たかし 議員

【質問】先日、木庄川沿いのカーブミラーが腐食により強風で倒れた。人や車にあたっていたらと危惧した。

転落防止の柵がない所もあり、安田小学校に通う子どもが2人下の田んぼに落ちたことがあると知った。道路改善の要望はどれくらいあるのか。

また、旧小豆島高校の校舎をつぶし、それを積んだトラックが走り、家が揺れ、塀がつぶれるのではないかと心配している人もいます。地元の人が影響を心配

しているなら、対策が必要だと思うが。

【答弁】新年度では、交通安全施設整備の予算を増額し、転落防止対策は国・県の補助金を活用した対策工事を拡大したいと考えている。町道の延長は約220キあり、対策はその都度行っている。交通安全対策予算を増額しており、例年以上に取り組んでいく。

旧小豆島高校校舎の撤去工事については、県発注の工事であり、搬出車両の通行において周辺住民の不安が解消されるよう、県にお願いしている。

草壁航路・再就航の願いが強い！ 町長の決意は

町「町と島の魅力を高め、航路再開に向けて取り組む」

【質問】草壁航路の再就航を願い、昨年、香川県出身の国会議員の事務所を訪ねた。草壁港から船に乗り、買い物や病院に行っていた人は本当に困っている。また、四国新聞に県民が選ぶ10大ニュースとして草壁・高松間フェリー休止が選ばれていた。今年は3年に1度の瀬戸芸の年であり、観光客も航路を利用して小豆島に来る。航路確保について、町長の決意を伺う。

【答弁】航路は、地域と地域をつなぐ道として人々の移動や物流に欠かすことができないものである。先日、草壁・高松航路の運航再開に向けた要望書を、四国運輸局および地元選出

国会議員に提出したところである。

草壁航路は、地域住民の日常生活や社会生活にとって大切な指定航路で、今後も港の機能の維持管理を継続し、交流人口の拡大、産業の活性化、文化活動の推進を図り、町と島の魅力を高め、航路の活性化を目指し、再開に向けて取り組んでいく。



再就航の願いが強い草壁航路

高潮対策と津波対策は

町「防災・減災対策の強化や日頃からの備えが大切」

【質問】映画村の少し先の道は昔のままで、高潮対策のための水門が必要だと思う。また、マルキン醤油近くの逆止弁が小さすぎて海水が入るようだ。ここは会社の土地であり、町の責任はないと思うが、悩みを聞いてあげてもらいたい。

自然との闘いは、町と一体となった各地区の避難訓練が大切だと思う。「自助・共助・公助」といわれるが、共助を大切にする呼びかけを強めてもらえないか。

【答弁】映画村の先の道の護岸部分は県の海岸保全施設となっており、県に対して対応策の検討をお願いしていく。マルキン醤油の箇所に



地域防災訓練の様子（木庄地区）

医療費無料対象拡大の

考えは

町「子育て支援の視点から
18歳まで拡大したい」



やすい のぶちか 議員

再質問 当初予算で計上し、最初からアピールすべきでは。

答弁 今回の当初予算は骨格予算であり、町単独事業は計上しないという考えである。

質問 子育て世代の呼び込みを図るため、医療費無料の対象拡大の考えは。

アピールが低いという指摘もあるが、6月の補正予算でも、新たな事業を情報発信していきたい。

答弁 令和4年度から綾川町、令和5年度から東京都も医療費無料の対象を18歳まで拡大する方針である。本町においても子育て支援の充実の観点から、医療費無料の対象を18歳まで拡大し、令和4年度の補正予算で対応したい。

再質問 6月に補正計上するのであれば、4月にさかのぼって実施していくのか。

答弁 4月に遡及しての適用となると、償還給付になる。今後の検討課題としたい。

障害者福祉の状況は

町「少しずつサービスが充実しているが、まだ乏しい現状にある」

質問 住みたくなる町への課題として、障害者福祉の状況は。

答弁 徐々にサービスの充実が図られているものの、依然障害福祉のサービス基盤は他市町に比べ乏しい現状にある。人と人がつながり、支え合い、誰もが安心して過ごせるぬくもりと希望の島づくりをテーマに、引き続き障害の有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組みたい。

最近では、放課後等デイサービス、児童発達支援や居宅介護、重度訪問介護を行う事業所がオープンし、サービスの充実が図られつつあるが、まだまだ不足している状況である。

そのため、暮らす場所であるグループホームの整備として、郡内には2つの施設しかなく、利用の希望に十分応えていない。社会福祉法人が土庄町内での設置を検討しているので、可能な限り支援に努めたい。

また、就労支援サービスの充実として、かがわ総合リハビリテーションセンターが、小豆島内に就職に関する相談や訓練、就労移行支援等を行う事業所の設置を検討している中で、サービスの充実に伴って、人材確保、育成面も支援していきたい。

旧高橋旅館の対応は

町「他の事例も研究しながら進めたい」

質問 中四国で唯一、「世界の持続可能な観光地TOP100選」に選定された町としては、何らかの対応が必要では。

再質問 反社会的勢力ということでも何もしないと、未来永劫、残骸のまま残っていく。

答弁 本来所有者が撤去すべき建物であり、町としては、住民の生活環境保全や景観悪化解消を図るため、適正管理を促していたが、そのまま放置された状態が現在まで続いている。

答弁 平成21年以降の事案で、弁護士や専門分野の方に相談した結果、現在の状況である。他の自治体でもそういう事例があるかどうか、研究しながら進めたい。

仮に強制的に行政代執行した場合、その費用は一旦町が負担しなければならぬ。

この事案は、反社会的勢力が関係していることから、回収不能となった場合、町が肩代わりすることになり、香川県暴力団排除推進条例第19条および第21



焼け跡のままの旧高橋旅館

コロナ対策の拡充を

町「状況を見極めながら、支援を検討していく」



鍋谷 真由美 議員

が協力して実施し、自宅療養中の食料などは、香川県がコープ生協に委託して自宅に配送している。

県による無症者への無料検査は、内海平井クリニックでPCR検査、げんきまん薬局で抗原検査をしている。

質問 感染力の強いオミクロン株の感染が広がり、町民は不安を感じている。医療体制、自宅療養者への支援、検査体制やワクチン接種の状況はどうか。

また、困窮者や小業者へのさらなる支援が必要では。

3月8日時点の3回目のワクチン接種者数は4970人、今月末には約7500人の方が完了し、おおむね5月の中旬には希望する人への接種が完了予定である。小児へのワクチン接種は、小豆島中央病院で、毎週月曜日から木曜日までの毎日1日当たり20人行う。生活困窮者への支援として、臨時特別給付金を住民税非課税の約2100世帯に給付を開始し、現在7割の給

答弁 年明け以降、3月8日まで、小豆島町で62人、土庄町で159人の感染が確認されている。軽症の人が多く、ほとんどが自宅療養である。

自宅療養者の経過観察は、保健所と医師会



臨時特別給付金受付・相談窓口
(住民生活課)

町「実施に向けて取り組みたい」

質問 子育て支援の新たな事業として、地域の中で「子育ての援助をしてほしい人」と「子育ての援助をしたい人」が会員となって、一時的な子育てを助け合う有償ボランティア組織であるファミリーサポ

ートセンター事業を実施してもらいたい。

答弁 ファミリーサポートセンター事業の実施は、事故が発生した場合の対応や有償にする際の額など、先行自治体の事例を収集し、

ファミリーサポートセンター事業の実施を

検討する必要がある。小豆島町社会福祉協議会で実施が可能かどうか協議しており、早急に課題を解決し、実施に向けて取り組みたい。

憲法9条改憲に反対を

町「発言は差し控えたい」

質問 岸田政権は9条改憲の動きを強めている。自衛隊明記や人権を制限する「緊急事態条項」創設、敵基地攻撃能力の保有や大軍拡と一体となって、東アジアの軍事的緊張を高め、戦争を招きかねない重大な動きである。町民のいのちやくらし

を守る立場で、9条改憲の動きには反対を。

答弁 黒島伝治、壺井栄、壺井繁治と悲惨な戦争の時代、その後の平和を望む声を発信してきた作家を輩出し、恒久平和を願う本町において、戦争には反対である。ただし、憲



二十四の瞳とオリーブは小豆島の平和の象徴

法改正の議論は国政の場でされるべきと考えたい。

2月1日と2月4日の2日間、3小学校の代表者9人が小学生議会に参加しました。

1日目は星城小学校、2日目は苗羽・安田小学校の児童が小学生議員となり、町に対して、子どもの視点からみた町づくりに対する質問を行いました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、池田小学校はやむを得ず中止となりました。小学生議会の開催はできませんでしたが、児童の皆さんが考えた質問内容等を掲載します。



さえき はるひ (苗羽)
佐伯 陽光 議員

質問 小豆島町が「世界の持続可能な観光地TOP100選」に選ばれたと聞きましたが、持続可能な観光地を目指して、どのような取り組みを考えていますか。

答弁 映画村、オリーブ公園やふるさと村では、訪れた人が楽しみながら環境問題に取り組める体験を実施しています。世界中から選ばれる観光地となるためには、町全体で持続可能な生活を日々心掛けることが大切です。



とりい ひさし (苗羽)
鳥居 久詩 議員

質問 小豆島町は「人が集い、元気なまち」づくりを目指していると思いますが、コロナ禍でどのようにして人が集う元気なまちづくりをしていますか。

答弁 人が集うことが難しくなっているため、デジタルを活用し、オンラインでの移住相談を始めています。また、瀬戸内国際芸術祭を通じて活力を取り戻し、魅力ある小豆島にしたいと考えています。



てるした こうく (苗羽)
照下 皓久 議員

質問 多くの人が野良猫に困っていて、放っておくと増える一方だと思います。小豆島町が行っている野良猫対策を教えてください。

答弁 野良猫が集まってきたり、増えたりする地域では、誰かが猫に餌を与えている可能性があるため、餌を与えないよう注意を促すチラシの配布や看板の設置などを行っています。今後も住民の皆さんと役場が「地域の問題」として共同で取り組んでいく必要があります。



くどう たいが (星城)
工藤 大雅 議員

質問 旧小豆島高校の跡地が、人々が集える憩いの場所になるように、広場や球場などの遊び場として、有効活用してみてもどうでしょうか。

答弁 北側グラウンドの体育館については、香川県にお願いをして、町が管理できるようにしたいと考えています。憩いの場所として利用できるよう、有効な活用方法を引き続き検討していきます。



おがわ めい (星城)
小川 明依 議員

質問 小豆島の魅力を伝え、移住者はもちろん、島外へ進学した人が帰ってきやすい取り組みが大切だと考えます。HPだけでなく、SNSなどを活用してはどうでしょうか。

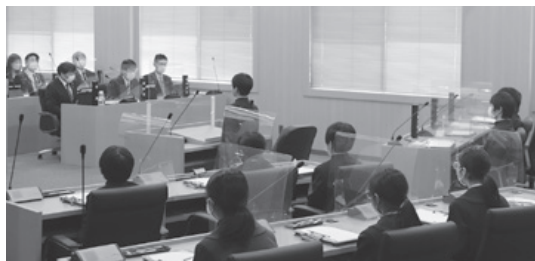
答弁 人口減少を少しでも緩やかにするために、移住者やUターン者の増加を目指す取り組みのひとつとして、地域おこし協力隊があります。SNSを通じて、若い人の活躍を伝えていきます。



ほった えいた (星城)
堀田 英汰 議員

質問 小豆島町が取り組んでいるSDGsについて教えてください。小学生も一緒に活動できるものがあれば、地域一丸となって取り組めるのではないのでしょうか。

答弁 太陽光発電設備の整備や公共施設のLED化をはじめ、海底ごみの回収、稚魚の放流や災害対策に備えるための取り組みを行っています。町広報やホームページを活用しながら、SDGsについて、広く知ってもらう機会を作っていきたいと考えています。



小学生議会



さえき かなめ (池田)
佐伯 要 議員

質問 今後30年以内に70%の確率で起こると言われている南海トラフ地震が心配です。小豆島町では、地震対策や避難場所の物資の準備などについて、どのように考えていますか。

答弁 町の取り組みである「公助」として、避難所と物資倉庫に、食料、水、トイレ、毛布、アルコールやマスクなどを備えています。自分で防災に取り組む「自助」、「公助」、地域で助け合う「共助」によって、被害を最小限に抑えることができます。



いのうえ こと (池田)
井上 煌都 議員

質問 私たちの住んでいる近くには、大きな公園がありません。体を使って思いっきり遊べる公園を造る計画はありませんか。また、公園に時計をつけてもらえませんか。

答弁 子どもが外で遊ぶことは、好奇心や想像力を豊かにする機会であり、とても大切なことです。子ども会や自治会など、地域住民から要望があれば、公園に新たな遊具や時計の設置を検討していきます。



むかい みはる (池田)
向井 美春 議員

質問 瀬戸内国際芸術祭などの行事が、中止や延期にならないための新型コロナウイルス感染予防対策について、どのように考えていますか。

答弁 住民の皆さんには三密を避け、マスク着用、手洗いや換気などの基本的な感染防止対策に加え、感染リスクの高い場所への外出の自粛など、これまで以上に感染防止対策を徹底して行動していただくよう、お願いしています。



なかの さや (安田)
中野 沙耶 議員

質問 ブルーラインがなくなり、高松へ行くための時間や費用が増えてしまいました。小豆島の交通を良くするため、ブルーラインの復活はできませんか。

答弁 航路の復活に大切なことは、島の魅力を高めて、人や物の往来を増やすことであると考えています。町が輝くことで、町の未来に賭けてくれる船会社が現れるような取り組みを進めていきます。



やまもと あやの (安田)
山本 彩乃 議員

質問 スポーツの総合施設と公園を造れば、コロナ禍でも子どもから高齢者までが気軽に楽しめて、楽しく住みやすい町となると考えますがいかがですか。

答弁 今後、B & G体育館やプールなどの大規模な改修を検討していきます。スポーツや公園施設が皆さんにとってより良いものになるよう検討を重ねていきます。



いしい ことみ (安田)
石井 琴心 議員

質問 小豆島の豊かな自然と歴史ある産業、伝統や文化を生かした観光サービスに重点を置いた大学を造れば、今以上に活気ある小豆島になるのではないのでしょうか。

答弁 高松市に観光サービスに重点を置いた大学ができたので、小豆島に新しく造るのは難しいと思います。しかし、国や香川県、大学などから、多くの若者が学びたいと思えるような魅力ある大学などを小豆島に造りたいという提案があれば、積極的に協力したいと思います。

全国町村議会議長会

勤続50年表彰

【名誉町村議会議員】

浜口 勇 議員

浜口勇議員が町議会議員として、50年以上の永きにわたって町の振興発展に寄与した功績が称えられ、全国町村議会議長会から表彰されました。浜口議員は、「名誉町村議会議員」として、東京都の全国町村議員会館に掲額されます。



総務建設常任委員会

3月10日、総務建設常任委員会を開催し、ふるさと村ワインハウスの一部を改修して設置されたテレビワック施設「うみちかふらっと」の視察を行いました。

「うみちかふらっと」の由来は、海に近い「うみちか」で、誰もが「フラット」に立ち寄れる、人にやさしい「flat」空間で、喧騒を離れ、いつもと違う音を感じる「b」という、3つの「ふらっと」で思い思いに過ごしてほしいという願いが込められています。



おくやみ

大川新也議員が、令和4年1月26日に逝去されました。ここに哀悼の意を表し、謹んでお悔やみ申し上げます。

委員長 藤本 傳夫
副委員長 柴田 初子
委員 森 弘章
委員 大下 淳
委員 三木 卓



広報編集特別委員会

4月5日、4年間の任期の最後となる、広報編集特別委員会を開催し、「議会だより」第64号の編集を終えることができました。

4年間にわたり、「議会だより」を読んでいただき、心から皆様に感謝申し上げます。

議会日誌

1月～3月までの主な議会活動についてお知らせします。

3 月					2 月					1 月				
30日	17日	10日	9日	4日	3日	2日	28日	24日	22日	16日	14日	7日	17日	8日
小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団 議会定例会 広報編集特別委員会

編集後記

今回の議会だよりをもって、今期編集委員としては最後の仕事になります。

編集委員を担当していく中で、若い人からお年寄りの方まで『議会だより』の内容について確認や質問を受けることもありました。細かいところまで読んでくれていることへの感謝もありながら、編集委員として喜びを感じた瞬間でもありました。

今後も、もっと手に取って読まれる『議会だより』になるよう、次のメンバーへバトンタッチです。

三木 卓 記

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島議会 ■編集 小豆島議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL (0879) 82-7060 FAX (0879) 82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp